

【カーボンニュートラルの実現に向けて】

温室効果ガス（GHG）の削減は世界的な動きであり、我が国も2050年に実質的なカーボンニュートラルを目指すことを宣言しています。GHGの削減はすべての業界を通じて取り組む課題であり、海運業界でもその削減の取り組みが進められているところであります。

船舶においてもGHG排出削減のため、様々な技術の開発が進められています。これまでに船舶燃料としての使用実績がない水素燃料やアンモニア燃料といった二酸化炭素を全く発生しない代替燃料の実用化に向けた技術の開発や制度づくりもその取り組みの一つです。既に実証実験が、その目的達成のために始動しております。日本の造船業界は、その技術力を結集して海外との競合に後れを取らぬよう立ち向かっていく時期に来ています。

そこで、当社は船舶用加圧式液化ガスタンク製作の世界NO.1企業として、2030年以降のゼロエミッション船等の市場拡大に寄与するべく、新たに船舶燃料タンク分野に参入していき、日本造船業界の国際社会での地位向上に貢献していくことを表明致します。